

〈工事中の月山つなぎ道路〉



編集兼発行人 朝日町役場 印刷所 両越印刷 定価 六円 送料 六円

新町内会長決まる

朝日町の各町内会長:

朝日町の各町内会長が決まりました。(○印は区長)

野中地区

下野 川瀬袖次郎 藤塚○山岡源
造 横道 山田豊吉

山崎地区

羽入 長津梅松 辻岩崎○谷口甚
造 越 黒崎辰次郎 坊 真部栄
作 小在池 九里留作 花房 牧
野六郎左エ門 棚山 平沢重次
山崎新 野口甚 細野 長 栄作
山玉 森岡義賢 殿町 初田二佐
次郎 湯の瀬 水野三好

大家地区

大家庄 坂口直吉 井の口○大久
保五郎左エ門 柳田 堂用秀雄
三枚橋 小川友次 不動堂 水井
留次 横水 青木栄作 高野 高
島政治 下山新 金森孝次郎 金
山 高田憲次郎 窪田「天定」
舟川新 岡崎修一

南保地区

小更 松下三郎 越 勝原 信
町南保 ○坂口松次郎 竹の内
谷 英雄 高島 土井和助 谷
岩井定次郎 長野 近藤勲 石谷
殿村与蔵 蛭谷 長崎仙松

五箇庄地区

桜町南部 高桜菊盛 桜町中部
南茂健太郎 桜町北部 南茂常二
月山西部○西田豊次 月山東部
河村政吉 赤川東部 長谷川兼次
赤川西部 山田才太郎 草野 浜
田豊次郎 新田 吉江一郎

泊地区

下横尾 梅沢捨二 上横尾 ○萩
原時次 温泉町 高木三郎 宮本
町 長井久八 橋向町 小杉晋作
神田町 亀谷順平 東下町 松倉
健三 西下町 本田秀雄 東三浦
町 波間豊太郎 中三浦町 秋山

敬士 西三浦町 高島憲治 中町
大沢清造 弥生町 氷見勝義 大
屋 古市秀太 本町○村口清次
幸町 根建訂 上町 大井久和
清水町 下沢三郎 東草野 米田
吉二 沼保 大村量造 荒川一丁
目 美佐光平 荒川二丁目 舟見
竹造 荒川三丁目 橋鉄治 荒川
四丁目 平柳鉄治 荒川五丁目
草東政吉 栄町○大西方郎 末広
町 後藤孝太 下道下 入江由松
中道下 殿村謙太郎 上道下 大
平繁治 日東町 佐藤信輝 平柳
柳下林造

宮崎地区

元屋敷 近江幸雄 宮崎○扇谷九
左エ門

笹川地区

境○水島富男 大平 根建源次郎

境地区

緑化に協力しましょう
荒れ果てた戦後の国土を緑化せんと
する運動が展開されてからもう十二
年目を迎える皆さんの協力のもと山も
街も家庭も一段と緑化されて来たこ
とは誠に喜ばしいことであります。
今年も四月一日より一大国民運動と
して緑化運動が展開されますが造林
の推進、治山治水の面から誠に適切
なことであり観光、保健衛生の上か
らも益する所が極めて大きいのであ
ります。昭和三十六年度に朝日町へ
造林の割当された面積は六七町四反
歩の大きな面積で、この面積消化に
ついて町民各位のより一層の協力が
なくては全植栽完遂はとうてい出
来ないのであり、各自の財産を造成
する気持から特と御協力をお願いす
るものであります。

来る緑化週間に呼応し今年も左記に
より苗木即売会を開催致しますので
ぜひ御利用下さい山に街に家庭
に一人一本必ず植栽致しましょう

一、日時 三月三十一、四月一日
午前九時より雨天決行

二、場所 朝日町役場前

三、共催 下新川地区林業改良普及
協会 朝日町森林組合

四、後援 下新川県事務所

五、即売会樹苗及単価

庭園樹
樹種 単価円 樹種 単価円
吉野桜 望 白木蓮 望
八重桜 望 五葉松 望
ヒマラヤシダ 望 唐棕呂 望
黒松(大) 望 ドラセナ 望
全(小) 望 糸ひば 望
ラカン樹(小) 望 ヒイラギ南天 望
ラカン樹(大) 望 白南天 望
泰山木 望 赤南天 望
日光ひば 望 ヒイラギ 望
くじやひば 望 紅かなめ 望
銀鉦木 望 赤ドラセナ 望
金鉦木 望 赤きやがせ 望
野村楓 望 泰山木(大) 望
梅もどき 望 貝塚伊吹(小) 望
月桂樹 望 全(大) 望

花 木
金木犀(小) 望 沈丁花 望
全(大) 望 ドラセナ 望
山茶花(大) 望 花桃(赤) 望
山茶花(小) 望 全(白) 望
大くちなし 望 どうらんつ 望
狭竹桃 望 花桃ナポレオン 望
きりしま 望 バラ四季吹 望
さつき 望 小くちなし 望
平戸つばし 望 白山茶花 望
えにし(黄) 望 つるばら 望
全(白) 望 壺 望
乙女椿(小) 望 ぼけ 望
全(大) 望 ゴム 望

盆裁三種四〇〇(三三〇)

公明選挙を推しよう
よく選びそれから望め
よい政治

177

今後に於ける

道路交通の問題点

朝日町議会建設委員 酒井 栄

(1) まえがき

最近に至つてようやく道路交通の重要性が一般から認識され政府に於ても所得増計画の命脈として道路関係の設備投資に大巾な予算配置がなされたことはまことに喜ばしいこととあります。鉄道輸送に比べ直接生産者から消費者へ直結する道路輸送が如何に地方経済の発展に重要な役割をなしているか町民各位の深く感じて居られる通りであります。しかし道路輸送の現況が今以つて益々地域的格差を増大させ経済発展の隘路となり此のまゝで推移せんか自由経済国家群の一員として国際收支の均衡を得んとする之等のしわざが中小企業や農山漁村に及び遂には勤労者の低賃金となつて表われることを懸念する等の当面する問題の解決策として当然になされるであろう道路投資の問題についても真に経済発展に寄与させるためには上は国の施策から下は農山漁村のすみずみに至るまで各種交通機関を総合的に計画発展させることが緊要であると思ふ、私は道路について全くの素人でありますが多年に亘る経験者やその道の権威者に言をかりて将来朝日町の道路交通に問題となるであらうことを述べることゝあながち無益ではなからうと思ひます。

(2) 道路設備と交通規制

交通は経済行為の重要なウエートを占めている点から考へて農民と中小企業として漁民との具体的な経済活動を出来るだけ直結させ地域格差の解消につとめることが望ましい、道路交通を円滑ならしめるためには唯単に道路の構造だけにこだわらず道

路を使用する我々はもとより自動車運転する人の公徳心の欠除や諸車運行上必要な設備もまた整備する必要がある中員の決定に当つては道路構造等交通量に應じた合理的な規定がなされているが最近の如く急ピッチで伸びる車輛の増加は中員に應じた交通量に規制する必要もまた生じて来る。それ等の方法として次のことが考えられる。

- (1) バイパスを設け之に沿つた住宅や商店街の建築を禁止す。
- (2) 一方交通の指定右折、駐車、通り抜け踏切通行等の禁止。
- (3) 車輛の使用区分に依る道路使用限界を規定する。
- (4) 自動車に対して制限速度、使用限界駐車待避の位置等を明確に標識する。
- (5) 前途の修繕工事やその他の支障を迂迴分岐点の手前で運転者に完全な予知徹底を計る。

道路の構造が如何に立派であつても日常の管理が行き届かなかつたり公共と云ふことを忘れ道路敷に材木をはみ出させたり空の木箱や酒、醤油の空樽まで店先にところせましとばかりに高く積み重ねてあつたんでは道路としての使命が果たせないばかりでなく之が直接間接の原因となつて尊い人命まで失ふと云ふ大きな交通事故の誘発ともなる。之等の内公徳心の欠如から来る問題は婦人会や交通安全協会等にお願ひして道路を広く使う運動や交通の流れを容易にする運動を強力に展開して戴くことにして此処では管理上の問題点について二、三ふれて見たい。道路の保全

は交通が円滑であることが第一義でなければならぬ交通量を円滑に流すためには先ず道路の等級に應じた車輛限界を定め砂利道に於ては特に排水に留意し降雨に依る飽和をさけ路盤支持力の保持につとめ損傷箇所の補修はこまめに実施すれば経費の節減に大きなプラスともなる。敷砂利は碎石に越したことはないが限られた予算では河砂利も止むを得ないとしても浜砂利の使用は適切でない。砂利の粒度は損傷の度合に依つて選別し場合に依つては節分けることの配慮もまた必要ではなからうか。

最近県道で実施されている碎石に赤土を混入した工法は関東や東北地方の如き全国的に稀に見る降雨記録を有する処では時季的な考慮がなされない限り徒らに泥濘を飛散させるのみで一考を要するものと考えられる。舗装道路の場合には砂利道に比較して交通に支障をおよぼす度合が大きいため道床の転圧に重点を置き舗装の強度を高め修繕の周期を伸ばすことも肝要である。施工に當つては作業を計画的に行ない迂迴路を前もって補強することをおこたつてはならない市街地の新設舗装に當つては少なくとも十年先の推移を想定して地下埋設物を処理しなければならぬ。また当町のような雪国にあつては強力な除雪機能の保持につとめ交通の停滞に依り経済活動に支障のないよう町当局の着意が望まれる。

(4) 道路網の合理性と計画上の問題
道路交通が経済発展の相手としてその使命を完全ならしめるためそれぞれの道路機能を十分に発揮させる道路網の合理性がなくてはならない。例えば国道八号線のような通運高速道路は極力市街地から引き離し或はバイパス等を設けて混乱する交通量を容易に処理出来るような配慮が大切である。今後の計画に當つては特に交通の流れに應じた道路網の確立にすぐれた経験と新技術の練磨に意を用いられ道路と之を使用する利用度の均衡が失われないようむだのない投資をなされるよう町当局の敏腕に期待する。

(5) むすび
至極当然のことを一大発見でもしたかのように書きたてましたが以上を総合して見ますと道路交通の今後の問題点は道路の整備、計画の合理性創意工夫にみちた管理と之を利用する各自の自由性にある特に土地の商品化に依つて不当の利得を目的とする極めて公共にとほしい私的隘路の公共化に問題があり之等徳性の欠如から道路としての基本原則がゆがめられないよう町民各位の自覚と協力に依つて町当局の計画に卒先推進下されんことを待ち望んでやまないものであります。(一九六二、二、二二)

崎邦夫(南保)

大回転△小学男子①大蔵政明(山崎)
②米丘敏明(南保)③稲垣吉夫(大家庄)④山田国良(笹川)⑤長津隆(山崎)⑥青木信夫(大家庄)△中学男子①山本克己(小川)②松下金吾(泊)③殿村吉弘(泊)△一般男子①松下重宣(南保)②岩井勇(南保)③谷武彦(南保)④折谷隆夫(笹川)⑤長崎邦夫(南保)⑥小坂豊治(南保)

朝日町民スキー検定会

期 日 二月十一日(日)

会 場 三峯スキー場

上級合格者

小杉正治(山崎) 初田隆(山崎)

中級合格者

谷口紀昭(南保) 更田郁男(南保)
更田繁雄(南保)
谷靖夫(南保) 長井宏悦(笹川)
青木茂(大家庄) 柳沢仁志(南保)
水下謙二(泊中) 池田均(小川中)
山口秀悦(魚西中) 山本克己(小川中) 魚住常雄(泊中) 殿村吉弘(小川中) 佃孝吉(泊中) 湯上谷厚(泊中) 館幸嗣(泊中)

初級合格者

青木進(小川中) 湯上谷保之(泊中)
野田哲裕(泊中) 藤条好夫(泊中)
川端啓二(南保小) 近藤昇(五ヶ庄小) 山本謙一(五箇庄小)
佃吉一(南保小)

電話加入申込の

月賦制度について

単独電話の場合、加入権と債権を担保として電話の架設ができます。詳細については電報電話局が銀行の窓口でお尋ね下さい。
朝日電報電話局長

役場事務改善が行われました

ビジュアルレコーダにより窓口を一本化

行政事務の改善或いは能率化という事は、他市町村においても関心事となっており、

我町もどのように発展ならびに推進して行くかという事は、当面の重要な問題として、全町民の関心の的であることと存じます。

勿論、行政事務が次々と増加し、役場事務も複雑多岐になり、それぞれ課係の取り扱う事務も膨大なため

ただ職員を増やすだけでなく、なんとか事務を処理する過程で迅速確実に処理できる方法を考えねばなら

なく、このたび行政事務の改善計画について、細部に亘り再検討し、町としての機能を充分に発揮し、住民の福祉増進を図るべく計画の一端と

して、窓口の改造と併せて機械器具の導入により、事務能率化を図り経済的に行政事務の処理を図る必要性を痛感し、その事務を迅速円滑に

処理し、住民へのサービスに努めることに機構を改革致しました。

このようにして二月五日を期して、第一次改善を実施し、窓口事務の一本化による新しい事務機構として発

足致しましたが、役場としては、この機構は、新しい方法でありますた

めに関係職員が事務に慣れるまで、或は御迷惑をおかけするような事もあるかと存じます。よろしく御寛容

をお願い致します。

尚、行政事務改善については、今後第二次、第三次等により、よりよき住民サービスと迅速的確なる事務処理を致し、新町にふさわしい役場といたしたい所存でありますのでよろしく御指導と御協力賜りますようお願い致します。

窓口係〔受付〕



ビジュアルレコーダによる基本台帳の集中管理

今までの戸籍、住民登録、国民健康保険、国民年金、配給、印鑑等の台帳を一ヶ所に集め、ビジュアルレコーダにより集中管理し、窓口を一つにしたわけです。

先づ、皆さんが役場の窓口へこられますと受付係が、皆さんの用件を承り受付をして、用件に応じてすべてを取りつぎ致します。

尚、皆さんから役場へ出される書類

或は、要求される諸証明書等は、すべてこの窓口で処理します。

住民の相談室について

従来、陳情や苦情等は、それぞれ担当の課、或は係へ直接お話しされて

いましたが、今後このような事は、すべて相談室を利用することに致しました。

尚、その他個人的な相談事等も、一

切相談室で応ずるところとして設け

ました。

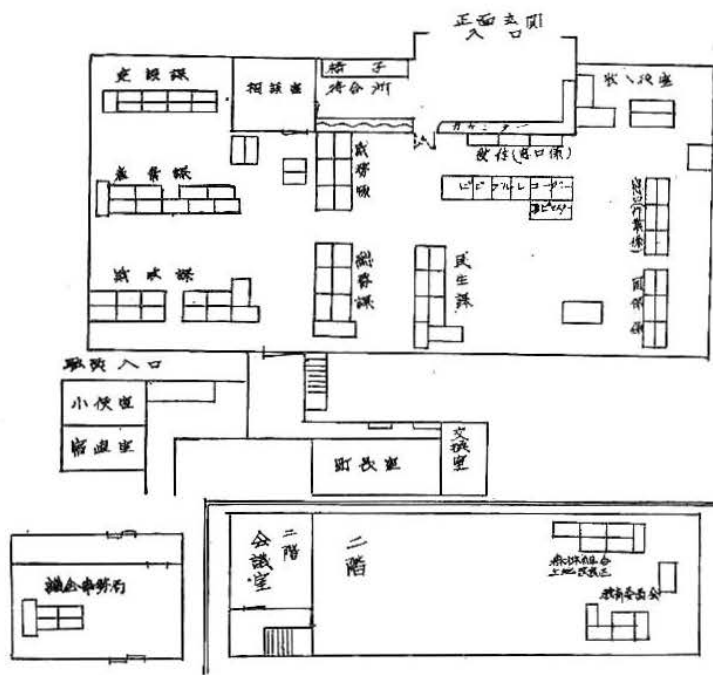
又、必要に応じて、係で解決出来ない事については、関係課長、係長等が相談室へ出て適切な相談に応ずることになっておりますので、必要な場合にはぜひ御利用されるようお願いしております。

住民移動等について

皆さんの世帯で出生、死亡、転出、転入、転居等の変更については、従来配給、国民健康保険、国民年金、戸籍等が別々に届出がなされていましたが、今後は、窓口係で全部済ますこととなりますので、手続の際には、必ず次のものは忘れないで持参下さい。

- 一、印鑑。
- 二、主食購入通帳。

役場見取図



入善警察署から

最近免許証を紛失したり、更新手続きをしなかったため有効期限が過ぎていくものが多いが、次のものは、すみやかに、警察署に返えして下さい。

もし、返えさない場合は一万円以下の罰金です。

一、免許が取消されたとき。

二、免許の期限がきたとき。

三、免許証の再交付を受けた後に

おいて紛失した免許証を発見し

又は回復したとき(旧の免許証

「なお、免許証を受けた者が、

死亡されたときは、その家族、

同居の親族の方が、すみやかに

返えされるようにお願いします

注 ◎ 免許証は、二通持つことはで

きません。

◎ 返納手続きのとき、印鑑がい

ります。

団長に寺崎和雄君

朝日町連青新役員決る

団長 寺崎 和雄 (泊)

副団長 高島 清信 (大家庄)

川上 庄蔵 (南保)

名古屋方枝 (山崎)

水島久美子 (境)

折谷 要 (笹川)

事務局長 境下 団長

笹川 水島

南保 折谷

山崎 水野

大家庄 水井

泊 中陣

昭和三十七年度活動方針

一、組織を強化しよう

二、活動家を育成しよう

三、女子活動を強化しよう

四、地方政治を学習しよう

昭和35年度

朝日町歳入歳出決算款別状況調

歳 出

△印は減額を示す

款	予算現額	調定額	収入済額	不欠納額	収入未済額	予算現額に 比し増減	歳入総額に 対する収入
① 町 税	81,706,900	86,030,935	82,893,062	21,020	3,116,853	1,186,1620	51.39
② 地方交付税	30,396,000	30,396,000	30,396,000	0	0	0	18.84
③ 公営企業及び財産収入	1,211,300	1,126,425	1,126,425	0	0△	84,875	0.69
④ 分担金及び負担金	1,750,100	1,950,000	1,950,000	0	0	199,900	1.21
⑤ 使用料及び手数料	4,006,145	3,965,678	3,956,078	0	9,600△	50,067	2.45
⑥ 国庫支出金	26,884,178	21,543,504	21,543,504	0	0△	5,340,674	13.36
⑦ 県支出金	6,433,388	6,145,714	6,145,714	0	0△	287,674	3.81
⑧ 寄付金	5,328,642	4,792,496	4,792,496	0	0△	536,146	2.97
⑨ 繰越金	1,879,297	1,879,297	1,879,297	0	0	0	1.17
⑩ 雑収入	1,051,900	1,135,101	1,135,101	0	0	83,201	0.70
⑪ 町債	11,000,000	5,500,000	5,500,000	0	0△	5,500,000	3.41
歳入合計	171,647,850	164,465,150	161,317,677	21,020	3,126,453△	10,330,173	100

歳 出

款	予算額	予備費支出額	予算現額	支出消額	不用額	歳出総額に 対する支出
① 議会費	2,664,990	—	2,664,990	2,660,712	4,278	1.67
② 役場費	22,818,565	72,515	22,891,080	22,819,759	71,321	14.35
③ 消防費	6,807,805	7,781	6,815,586	6,749,450	66,136	4.24
④ 土木費	21,201,480	3,598	21,205,078	21,191,832	13,246	13.32
⑤ 教育費	38,375,595	110,247	38,485,842	27,537,094	10,948,748	17.31
⑥ 社会及び労働施設費	21,599,110	17,190	21,616,300	21,428,058	188,242	13.47
⑦ 保健衛生費	2,740,600	1,200	2,741,800	2,383,359	358,441	1.50
⑧ 産業経済費	23,210,376	38,988	23,249,364	22,803,883	445,481	14.34
⑨ 財産費	2,368,209	87,100	2,455,309	2,346,496	108,813	1.48
⑩ 統計費	444,250	—	444,250	371,814	72,436	0.23
⑪ 選挙費	681,970	—	681,970	543,335	138,635	0.34
⑫ 公債費	17,039,400	180,957	17,220,357	17,220,270	87	10.83
⑬ 諸支出金	11,149,550	19,630	11,169,180	10,997,971	171,209	6.92
⑭ 予備費	545,950	△ 539,206	6,744	—	6,744	—
歳出合計	171,647,850	—	171,647,850	159,054,033	12,593,817	100

歳入歳出差引残高 2,263,644円を昭和36年度へ繰越

昭和35年度

朝日町国民健康保険特別会計歳入歳出決算款別状況調

歳 入

△は減額を示す。

款	予算現額	調定額	収入済額	収入未済額	予算現額に 比し増減	決算合計 100分の比
① 国民健康保険税	12,872,420	13,500,325	12,406,014	1,094,311	△ 466,406	50.60
② 財産収入	102,000	119,238	119,238	0	17,238	0.48
③ 使用料及び手数料	40,000	47,050	47,050	0	7,050	0.19
④ 国庫支出金	7,240,650	9,396,741	9,396,741	0	2,156,091	38.32
⑤ 県支出金	127,350	139,020	139,020	0	11,670	0.56
⑥ 繰越金	2,208,047	2,208,047	2,208,047	0	0	9.00
⑦ 雑収入	158,000	205,102	205,102	0	47,102	0.85
歳入合計	22,748,467	25,615,523	24,521,212	1,094,311	1,772,745	100

歳 出

款	予算額	予備費支出額	予算現額	支出済額	不用額	決算合計 100分の比
① 役場費	2,013,880	899	2,014,779	1,971,743	43,036	8.89
② 保険給付費	18,571,500	225,749	18,797,249	18,740,867	56,382	84.56
③ 保険施設費	931,530	80	931,610	910,553	21,057	4.10
④ 財産費	102,000	17,238	119,238	119,238	0	0.53
⑤ 公債費	5,000	0	5,000	0	5,000	0
⑥ 諸支出金	438,930	13,439	452,369	418,303	34,066	1.92
⑦ 予備費	685,627	△ 257,405	428,222	0	428,222	0
歳出合計	22,748,467	0	22,748,467	22,160,704	587,763	100

歳入歳出差引残金 2,360,508円